

単位数	2	学科（型） 学年	建設工学科(建築型) 2年	教科書 副教材等	建築構造（実教出版）
学習目標		鉄筋コンクリート構造、鋼構造における一般的な構造形式とその特徴を学習し、部材名称や部材の働き、構成方法を理解する。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第3章 鉄筋コンクリート構造 1 構造の特徴と構造形式 2 鉄筋 3 コンクリート 4 基礎 5 躯体 6 仕上げ			○鉄筋コンクリート構造に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付ける。 ○建築材料に関する基礎的な知識をもとに、身近な建築物を観察し、構造形式や構成部材、建築材料について考える。 ○自ら構想する建築物に適する構造形式や構成部材、建築材料を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付ける。	
2	7 壁式構造 8 プレストレストコンクリート構造 第4章 鋼構造 1 構造の特徴と構造形式 2 鋼と鋼材 3 鋼材の接合 4 基礎			○ラーメン構造の構造形式や構成部材、及び鉄筋コンクリート構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技能に関心を持つ。 ○ラーメン構造の構造形式や構成部材、及び鋼構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識を習得する。 ○鋼構造に関する諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付ける。	
3	5 骨組 6 仕上げ 7 軽量鋼構造と鋼管構造 第5章 1 構造のあらまし 2 鉄骨鉄筋コンクリート構造 3 コンクリート充填鋼管構造			○鋼構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技能に関心を持つ。 ○合成構造の構造形式や鋼製部材、及び合成構造に用いられる建築材料に関する基礎的な知識や技能に関心を持つ。 ○自ら構想する建築物に適する構造形式や構成部材、建築材料を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付ける。	
評価の観点		内 容			
知識・技能		・建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心掛けた上で活用することを理解している。			
思考・判断・表現		・建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し創意工夫する能力を身に付ける。			
主体的に学習に取り組む 態度		・建築物の構造に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。			
評価 方法	学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価の観点で評価します。具体的には、主に「出席の状況」、「授業中の態度や取り組む姿勢」、「提出物」、「小テスト」、「定期考査」により評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 定期考査は、授業の内容から出題します。 ○ 課題やノート等の提出物は、必ず提出期限を守りましょう。 ○ 授業中は先生の指示をしっかりと聞き、指示された通りの活動を行い、授業に積極的に参加してください。					